

2021年3月期 第1四半期  
決算発表説明資料



2020年8月6日  
エンシュウ株式会社  
(東証一部 6218)

## I. 連結決算概要

### ● 全社

(1) 経営成績

## II. 工作機械事業

(1) 連結 地域別売上高・営業利益

(2) 連結 受注高・受注残高

## III. 輸送機器事業

### ● 経営成績

## IV. 配当

## V. 参考資料

### ● 連結 四半期業績推移

# I. (1) 連結 全社 経営成績

公表 = 前回業績予想(6/15) ※20年度上期、20年度は予測

## ●2020年度通期 4期ぶりの赤字計上見込 も配当は維持

・1Q実績は黒字

### 【上期】

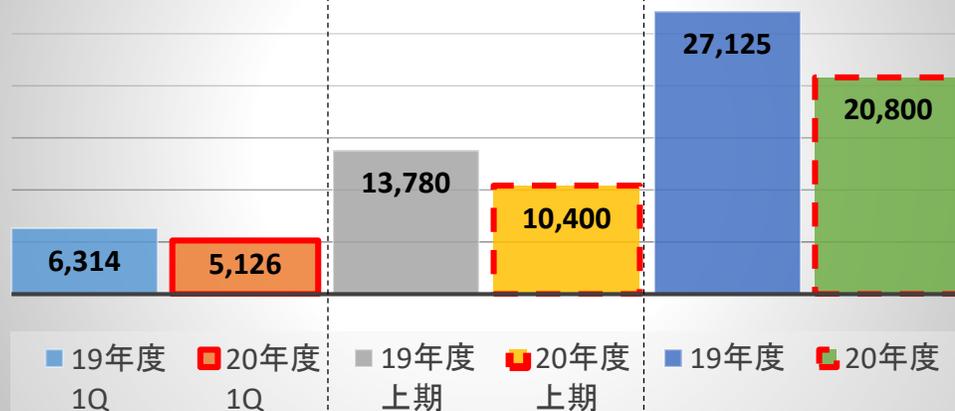
・部品加工部門落ち込むも、工作機械は底堅く推移し、損益は概ね予想通りの見込

### 【通期】

・部品加工は下期に向けて復調見通しなるも、通期では赤字  
・工作機械は通期で黒字になるも、部品加工部門の赤字を打ち返せず、全社としては赤字の見通し

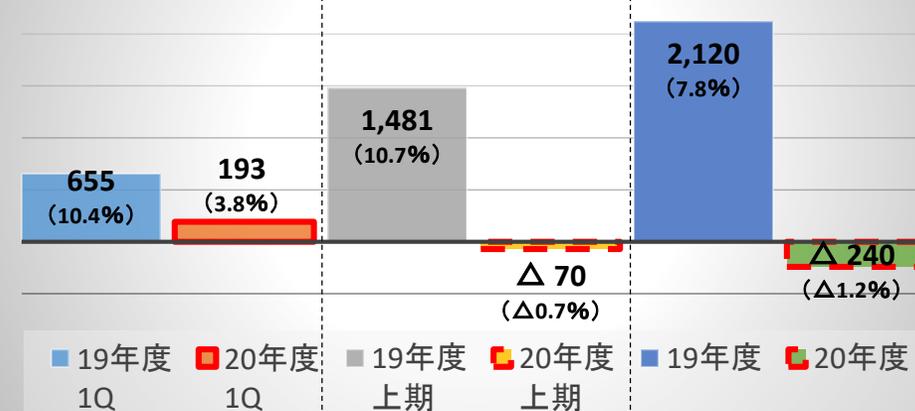
## 売上高

公表 : 10,700



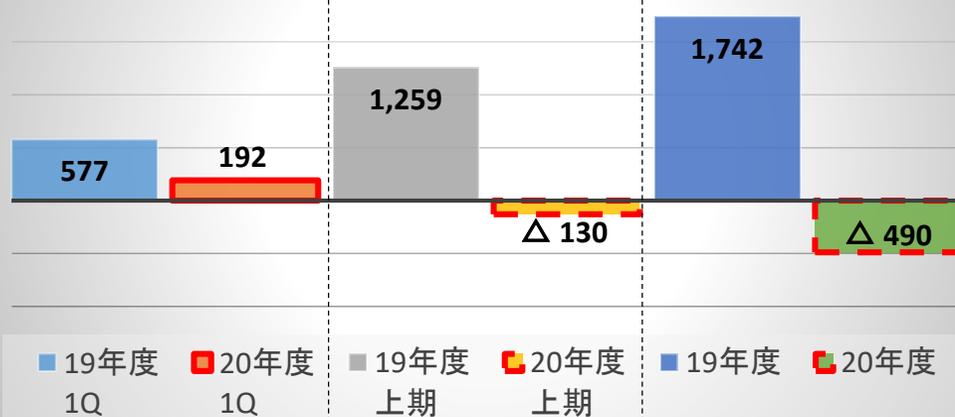
## 営業利益 (営業利益率)

公表 : △65



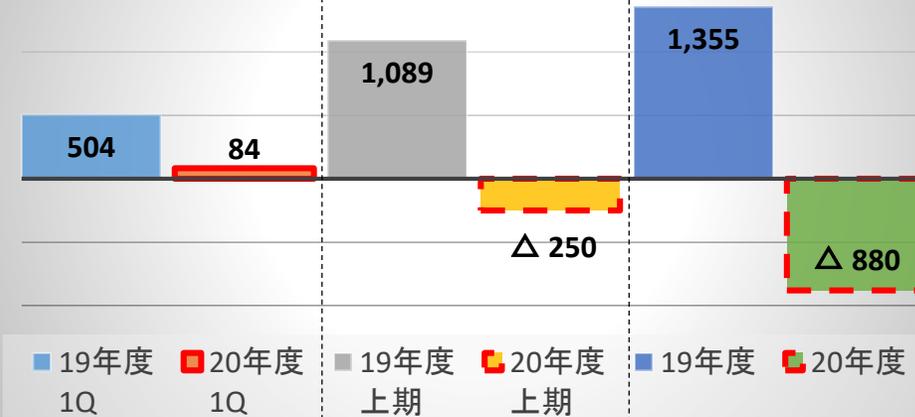
## 経常利益

公表 : △140



## 当期純利益

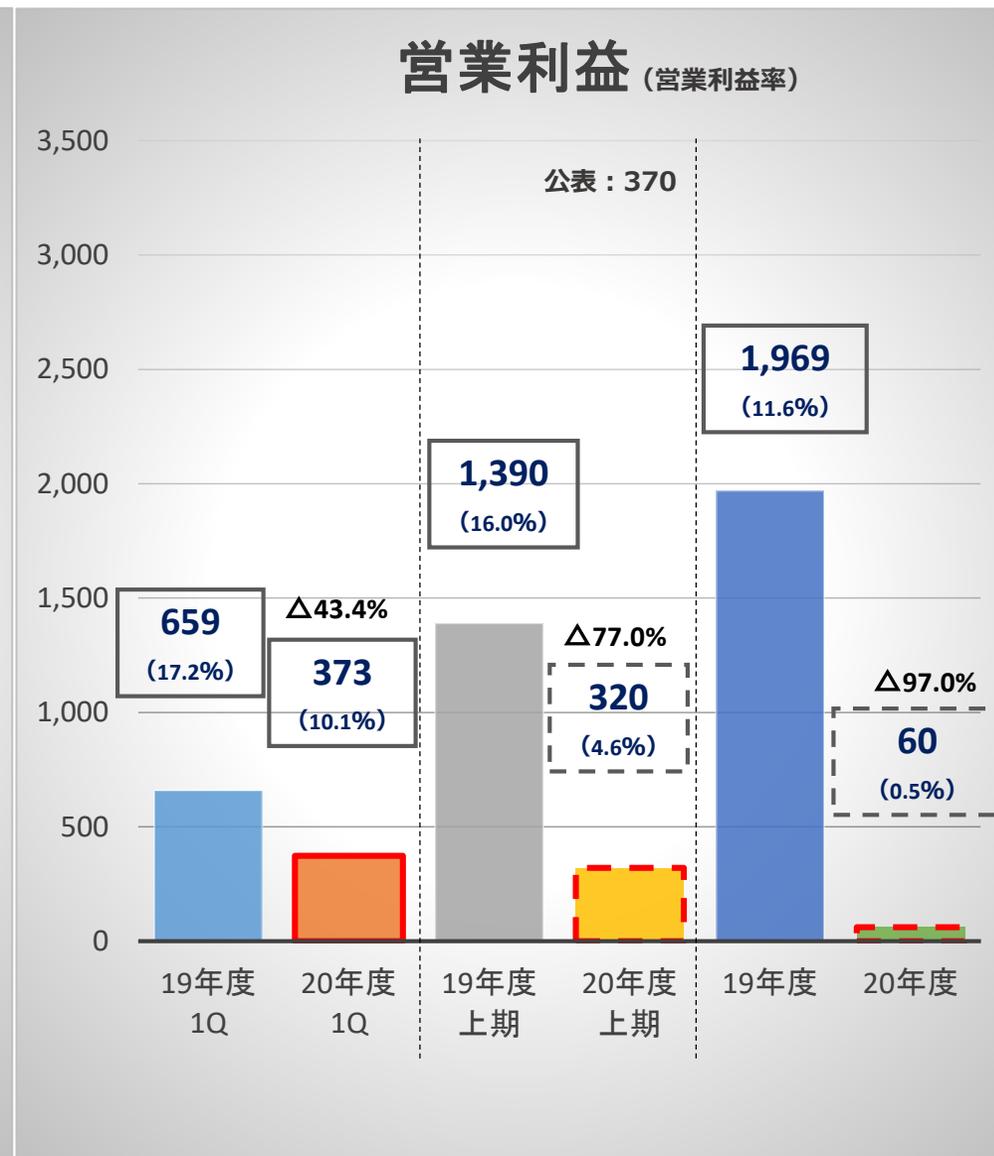
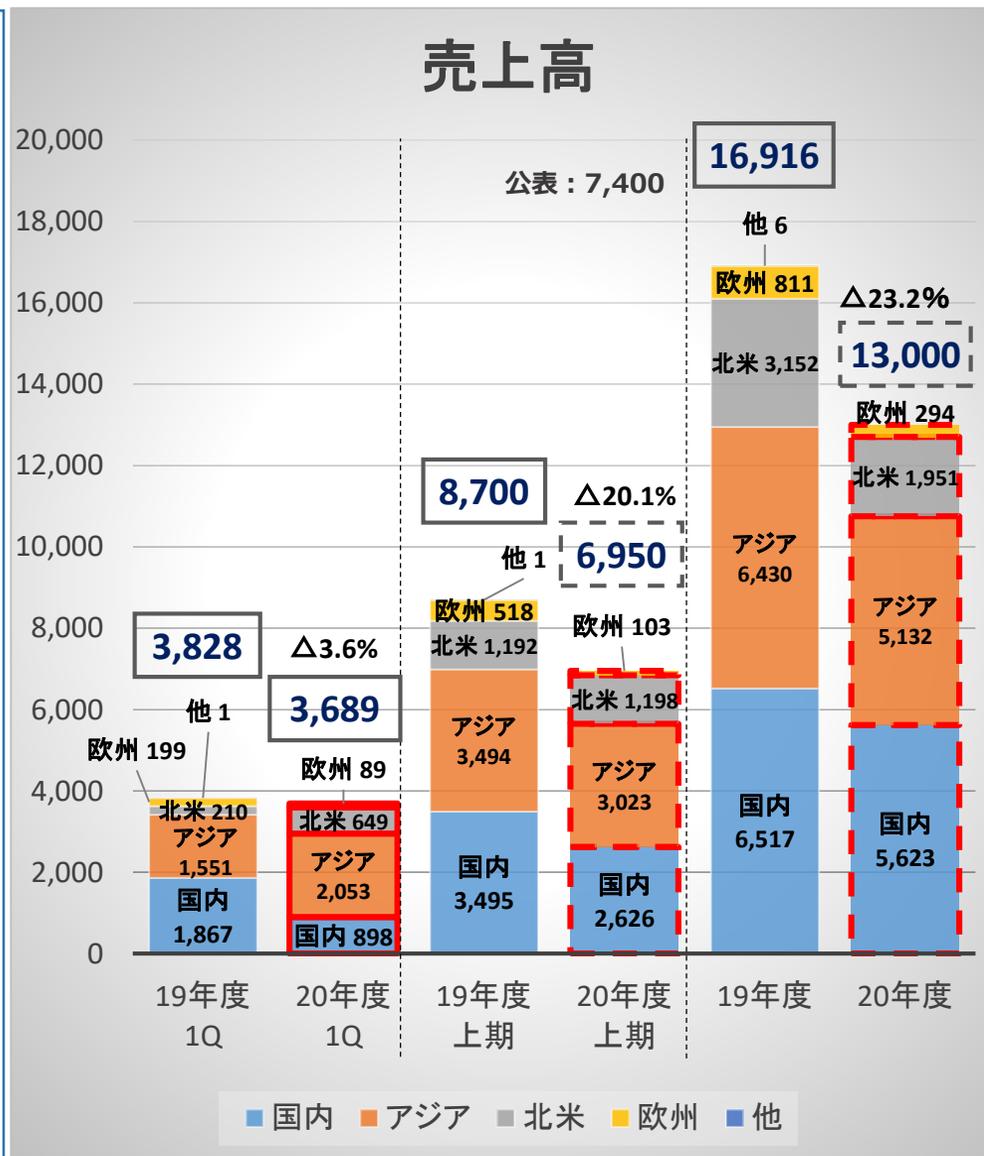
公表 : △200



## Ⅱ. (1) 連結 工作機械事業 地域別売上高・営業利益

### ●2020年度 通期黒字見通し

- 【損益見通し】
- ・受注残があり売上確保の見通し、通期黒字見通し
  - ・コロナウイルスの影響が続くも、営業活動再開
  - ・搬送装置内蔵マシニングセンターの自動車関連以外への販売も推進
  - ・中国など新規引合あり、省人化に伴う自動化ニーズも取り込む



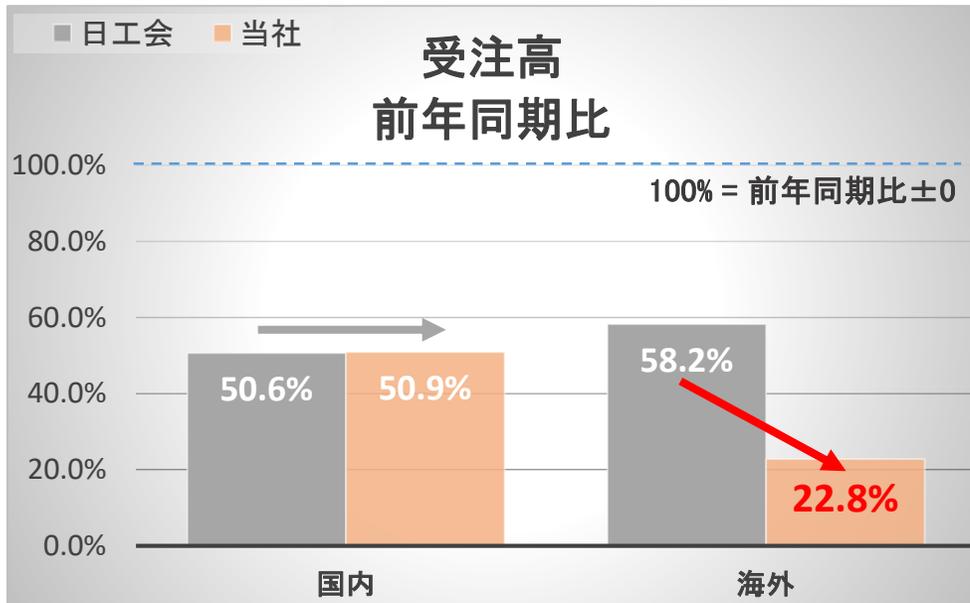
## Ⅱ. (2) 連結 工作機械事業 受注高・受注残高

### ◆業界景況

- ・2020年度1Qの日工会受注は11年ぶりの低水準（前年同期比55.2%）
- ・中国の新車販売は3ヵ月連続で前年同期比プラスであり回復基調

### ◆当社景況

- ・国内受注は業界同様の落ち込み、海外を含め当社は自動車関連のシステムに特化しており投資判断が慎重となった
- ・日工会の7月発表では、中国向け受注額が回復しているが、当社は自動車関連のシステムに特化しているため、少し遅れての受注回復が見込まれる。省人化に伴う自動化ニーズもあり取り込んでいく
- ・搬送装置内蔵マシニングセンターの自動車関連以外への販売を中心として、商社と連携し、『市場拡大プロジェクト』を推進
- ・今期受注目標：8,300百万円



### ☆日本工作機械工業会受注推移

	19年度 1Q	20年度 1Q	前年同期比
国内	123,934	62,703	50.6%
海外	192,185	111,869	58.2%
総額	316,119	174,572	55.2%
自動車(国内)	38,226	13,878	36.3%

### ☆当社の連結受注高及び連結受注残高推移

	19年度 1Q	20年度 1Q	前年同期比
国内	1,419	722	50.9%
海外	2,355	538	22.8%
総額	3,774	1,260	33.4%
受注残高	15,557	9,124	

## ●2020年度 1Q業績概要

コロナウイルスの影響による客先の減産・稼働調整が大きく影響

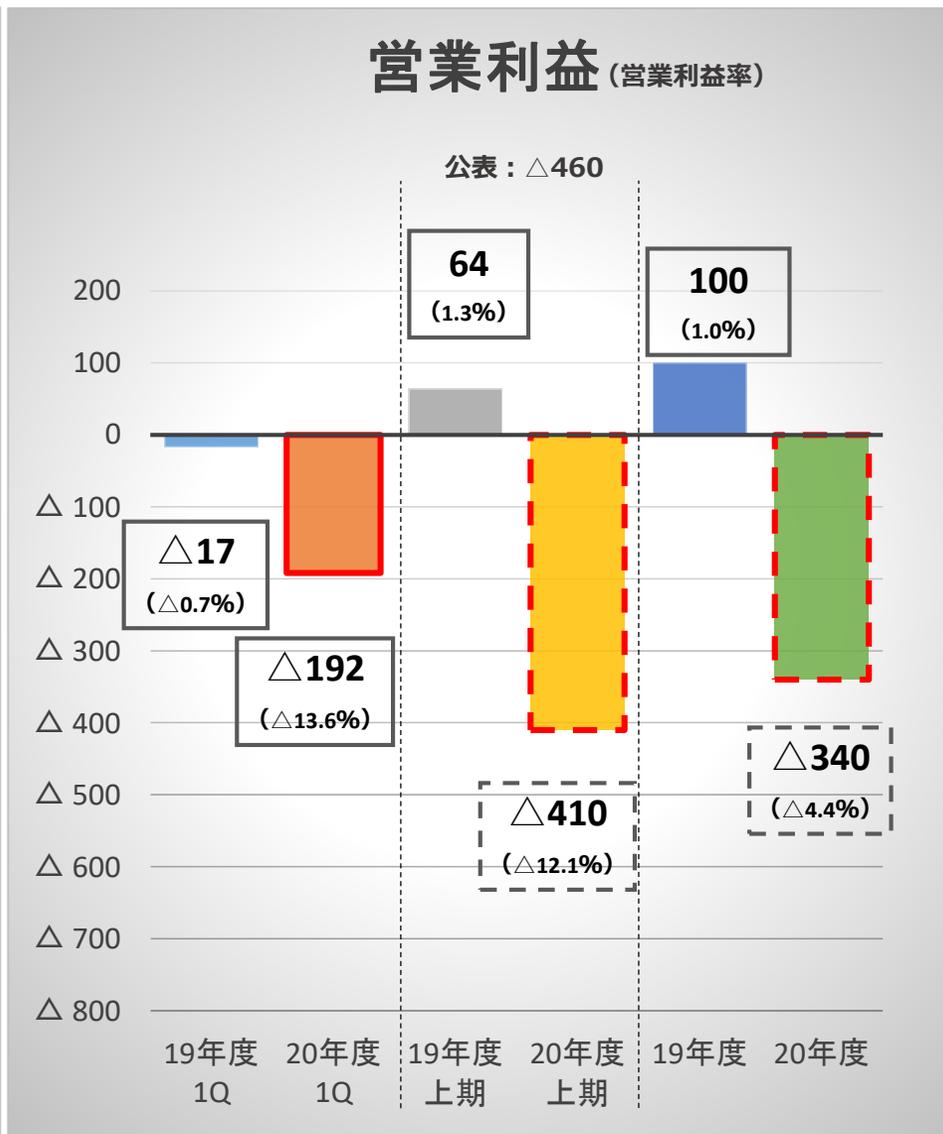
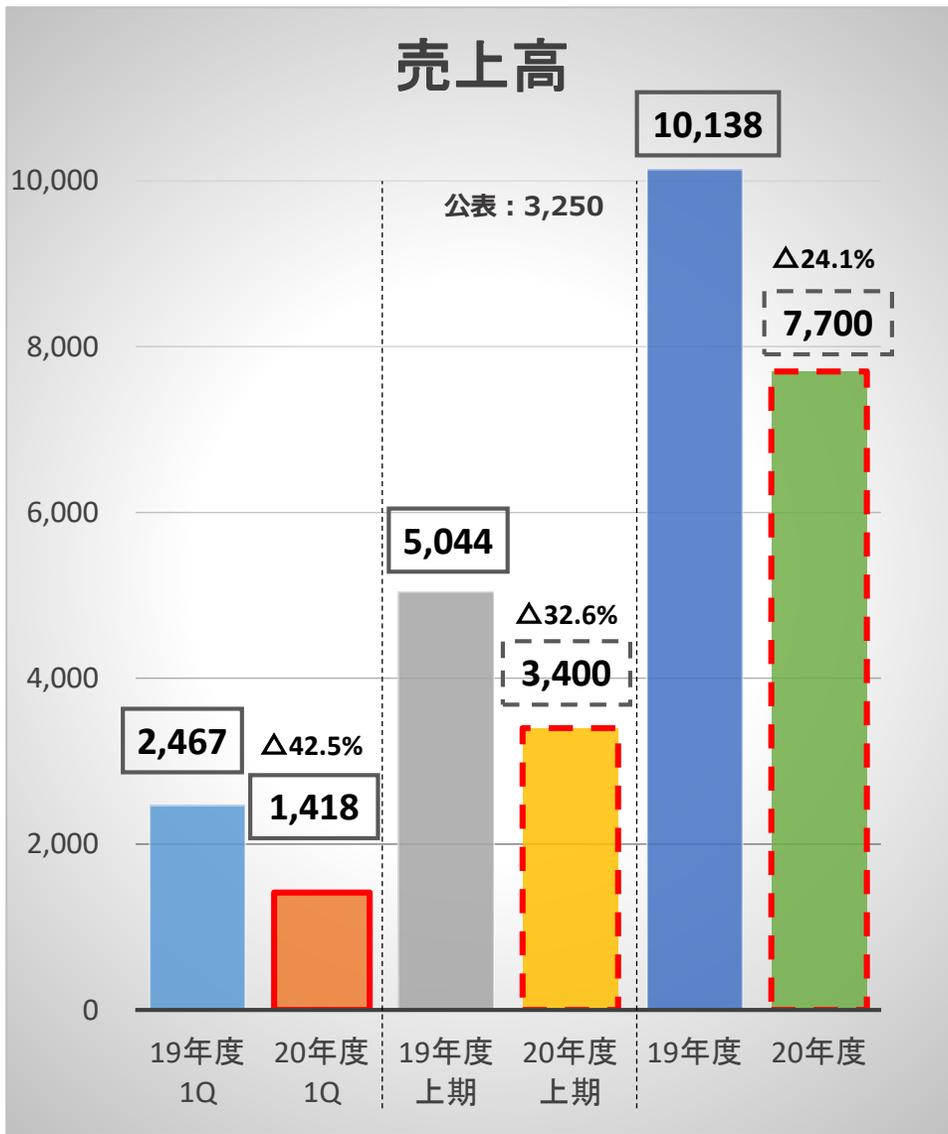
・客先の稼働状況に合わせて一部休業を実施

## ●2020年度 上期・通期業績予想

・ヤマハ発動機関連向け売上は足元回復してきている。当社としては今後も少しずつ回復していくことを前提に右記予想としている

・四輪関連も、先行き不透明であるものの、当社としては売上は回復していくことを前提に予想している

・昨年から実施している「営業一元化」施策の効果により、新規顧客からの仕事取り込みを実現



### ● 期末配当予想

2020年5月14日公表の「2020年3月期 決算短信」では、配当予想を未定としておりました。

当期は赤字見通しではあるものの、現時点では前期同額の1株あたり10円の期末配当は継続が可能であると判断致しました。

引き続き財務体質の強化を図るとともに、安定的な配当を継続していくことを経営の重要課題と認識して取り組んでまいります。

### 普通株式に係る年間配当

基準日	普通株式1株当たり配当金	
	2020年3月期末	2021年3月期末
普通配当	円銭 10.00	円銭 10.00
合計	10.00	10.00

# V. (参考資料) 連結 四半期業績推移

(単位:百万円)

(累計期間)

						セグメント			
		売上高	営業利益	経常利益	純利益	工作機械関連		輸送機器関連	
						売上高	営業利益	売上高	営業利益
2018年3月期 (150期)	第1四半期	4,150	△ 1	△ 34	△ 48	1,596	△ 162	2,536	148
	上期	11,110	444	315	280	6,110	127	4,964	290
	第3四半期	16,163	569	371	320	8,729	112	7,380	418
	通期	23,479	928	674	597	13,671	378	9,737	498
2019年3月期 (151期)	第1四半期	6,755	333	271	216	4,175	150	2,561	170
	上期	13,460	819	653	581	8,150	482	5,274	311
	第3四半期	23,047	1,902	1,661	1,049	15,101	1,445	7,892	418
	通期	30,747	2,599	2,266	1,616	20,357	2,132	10,319	415
2020年3月期 (152期)	第1四半期	6,314	655	577	504	3,828	659	2,467	△ 17
	上期	13,780	1,481	1,259	1,089	8,700	1,390	5,044	64
	第3四半期	20,025	1,844	1,571	1,261	12,349	1,743	7,623	61
	通期	27,125	2,120	1,742	1,355	16,916	1,969	10,138	100
2021年3月期 (153期)	第1四半期	5,126	193	192	84	3,689	373	1,418	△ 192



# 繋ぐ技術を、世界へ

2020年2月5日

おかげさまでエンシュウは

創立100周年を迎えました

**ENSHU**  
エンシュウ株式会社

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。